

2024(令和6)年度 事業報告

I. 法人運営事業

1. 監査の実施(令和6年5月17日)

(監査事項)

- ・2023(令和5)年度事業報告(案)について
- ・2023(令和5)年度決算報告書(案)について
- ・会計帳簿、残高証明書のチェック

(その他)

- ・第43回理事会議案説明

2. 理事会の開催

(1) 第43回理事会(令和6年5月30日)

(議案)

- ・2023(令和5)年度事業報告(案)について
- ・2023(令和5)年度決算報告書(案)について
- ・助成事業の決定について(1)及び(2)
- ・第13回定時評議員会の招集について

(報告事項)

- ・第13回評議員会、第44回理事会の日程ほか補足説明

(2) 第44回理事会(令和6年6月24日)

(議案)

- ・寺田亮一を理事長(代表理事)に選定
- ・森井輝昭を常務理事に選定

(3) 第45回理事会(令和6年10月10日)

(議案)

- ・選考委員の選定について
- ・助成事業の決定について
- ・東北復興車いす支援活動の収束について

(報告事項)

- ・2024(令和6)年度上期(4月～9月)業務執行報告及び事業報告

(4)第46回理事会(令和7年3月17日)

(議案)

- ・社会福祉関係者に係る研修・研究事業に対する助成の決定について
- ・助成事業の決定について
- ・社会福祉に関する諸活動に対する支援及び助成の決定について
- ・2025(令和7)年度事業計画(案)について
- ・2025(令和7)年度予算(案)について
- ・役員等のための保険契約の締結について

(報告事項)

- ・2024(令和6)年度業務執行報告及び事業報告

3. 評議員会の開催

第13回定時評議員会(令和6年6月19日)

(議案)

- ・2023(令和5)年度決算報告書(案)について
- ・「評議員の選任」について
- ・「理事の選任」について
- ・「監事の選任」について

(報告事項)

- ・2023(令和5)年度事業報告について

Ⅱ. 社会福祉助成・支援事業

1. 社会福祉関係者に係る研修・研究事業に対する助成

—2025(令和7)年度公募助成事業—

(1)『社会福祉助成事業実施要綱』の告知(①～⑥の方法で告知を実施)

- ① 日社済ホームページ更新(9月1日)
- ② Welfare71号(9/1号)の作成・配布(9月)
- ③ 全国社会福祉協議会のホームページ(9月)
- ④ 東京都・大阪府・岩手県社会福祉協議会のホームページ(9月)
- ⑤ 広報誌への掲載等(大阪府社協・ボランティアーズ京都)(9月～10月)
- ⑥ 福祉新聞(10月22日号及び11月19日号)への広告掲載

(2)応募状況

- ① 応募期間: 令和6年11月1日～12月15日
- ② 応募件数と金額
 - ・応募件数: 83件
 - ・応募金額: 3,234万円

(3)選考経過

① 予備選考会

- ・期 日 令和7年1月28日(霞山会館)
- ・出席者 こども家庭庁・縄田裕弘・障害児支援専門官、
厚生労働省・寺田誠・社会福祉専門官、日社済事務局4名

② 選考委員会

- ・期 日 令和7年2月18日(霞山会館)
- ・出席者 炭谷委員長・諏訪委員・枝見委員・東島委員(選考委員4名)
寺田理事長・森井常務・近石事務局長・加藤部長(日社済4名)

(4)選考結果

令和7年3月17日{第46回理事会(合同役員会)}にて

- ・助成件数:56件
- ・助成金額:2,064万円

—2024(令和6)年度実施の公募外事業への助成—

- ① 社会福祉法人うらやす和楽苑:38.7万円(第43回理事会決定)
- ② 社会福祉法人天竜厚生会:50万円(第43回理事会決定)
- ③ 日本福祉施設士会関東甲信越静岡ブロック:50万円(第45回理事会決定)
- ④ 人権文化を育てる会:70万円(第46回理事会決定)

2. 社会福祉に関する諸活動に対する支援及び助成

(1)アジア福祉助成

全国社会福祉協議会と連携して、全社協福祉研修の修了生が帰国後実施する福祉事業へ助成し、日本とアジア諸国の福祉交流の醸成と福祉向上を図る。

- | | |
|-----------------------|------|
| ① バハイ・トゥルヤン財団(フィリピン) | 30万円 |
| ② VDA(タイ) | 30万円 |
| ③ ルアム・ミット青少年財団(タイ) | 30万円 |
| ④ センカダガラ盲聾学校(スリランカ) | 30万円 |
| ⑤ ソシエタ・インドネシア(インドネシア) | 30万円 |

合計 150万円

(2)助成施設・団体の現地事業視察と福祉関係者の交流支援

韓国福祉施設視察

社会的企業育成法を施行している韓国において、先進的に取り組んでいる社会福祉館や施設を訪問

期 間:11月14日～17日

訪問先:韓国社会的企業振興院、カナン勤労福祉館、甘川文化村

参加者:寺田理事長、炭谷評議員、森井常務、近石理事

協力者:社会福祉法人共生シンフォニー理事長中崎ひとみ氏、
立命館大学教授呉世雄氏、社会福祉士炭谷和恵氏

3. アジア等の障害者への車いす修繕・寄贈事業等に対する支援及び助成

(1) 東北復興車いす支援

第45回理事会にて、支援活動を収束にする方向で決定。

第46回理事会(合同役員会)にて、評議員の皆さまに周知。

東北復興車いす支援活動の収束について

2011年3月に発生した東日本大震災の後、被災地に対して車いすの修理・寄贈等の支援活動を行ってきた。具体的には震災被災地の老人介護施設等を訪問し、車いすを修理又は寄贈するなどこの活動にボランティア参加している高校生や大学生等への宿泊費や交通費の支援他、ノーパンクタイヤの購入費、車いすの配送費の負担等を通じて支援活動を行ってきた。

震災発生(2011年)から令和元年(2019年)まで毎年ゴールデンウィーク期間に9年間継続実施していた三陸復興車いす支援活動(現地整備活動:『空飛ぶ車いす、東北に行く!!』=車いすの回収、修理、寄贈活動)は令和2年度で第10回目を迎えるはずであったが、コロナウイルス感染問題にて休止した。その後、支援活動は、2020年の新型コロナウイルス感染症の発生以降5年にわたり活動を休止しております。

新型コロナが5類に分類された2023年以降再度支援活動を復活するべきか検討を重ねてきましたが以下の理由から収束を計ることとなりました。

- ・相手先からの依頼がなくなった。震災から丸14年が経過し訪問先であった現地老人介護施設や社会福祉協議会において車いす修理に関する需要がほとんどなくなった事。
- ・また当時ボランティア活動の中心メンバーであった高校生、大学生等の東北復興に対する意欲、モチベーションを維持・高揚することが難しくなっている事。

(2) 車いす修理ボランティア活動支援

① ノーパンクタイヤ・部品等の購入費助成

ノーパンクタイヤの一括購入

(台湾:赤陽工業有限公司、日本:曾我商会)

② 修理技術の向上と修理活動の促進のための支援

修理講習会、修理活動への支援

◇岩手県 車いすフレンズ車いす整備技術講習会

岩手県社会福祉協議会が中心となって各高校の活動を出張型で支援、整備技術講習会を実施。

- ・期 日 ア、令和6年7月25日 盛岡工業高校
イ、令和6年8月22日 千厩高等学校

ウ、令和6年8月26日 黒沢尻工業高校

エ、令和6年8月30日 水沢工業高校

オ、令和6年9月6日 宮古商工高校

カ、令和6年10月18日 大船渡東高校

- ・参加者 盛岡工業高校、千厩高校、黒沢尻工業高校、水沢工業高、宮古商工高校、大船渡東高校、県市社協の担当者、ライフセディア(福祉機器会社)代表、日社済からはア、ウ、エ、の3高校に参加

- ・活動 スリランカ寄贈 3000 台の記念ビデオ映像・説明、車いす修理整備(タイヤ・ベアリング交換、錆落とし他)

◇合同修理大会(茨城県下妻市)

令和6年5月18日、令和6年6月15日及び令和6年8月3日の3回。「空飛ぶ車いすを応援する会」のメンバーが上記3日間それぞれ16人、7人、6人がコンテナ船搬入前に車いすの再点検を実施。

更に令和7年1月18日、2月1日、3月29日「空飛ぶ車いすを応援する会」のメンバーが3日間、各々7人、25人、6人が車いすの再点検を実施。

- ③ 修理技術向上と修理活動促進のための活動への助成
「空飛ぶ車いすを応援する会」による修理高校訪問・指導予定
- ④ 書き損じはがき収集の促進
 - ・都道府県、指定都市、市区町村社協への広報
(ウェルフェア71号に掲載)
 - ・本会ホームページによる広報展開

(3) 車いす輸送支援(アジア等障害者支援)

① 車いすの海外輸送実績

2024(令和6)年4月～3月輸送実績 : 245台

・旅行者等のボランティア(各国) : 35台

・コンテナ船輸送(タイ・スリランカ) : 210台

8月:スリランカへ110台 12月:タイへ100台

② 車いすの国内配送・海外輸送支援

ア、国内配送費の支援(修理学校⇄空港間など)

国内配送の協力依頼 ⇒ 日通航空へ特別料金の適用

イ、海外輸送費の支援

コンテナ船輸送費用負担

③ 海外修理大会への修理ボランティア参加支援

◇「車いす合同修理大会」 in Sri Lanka

・期 日 令和6年8月29日～9月1日

・参加者 空飛ぶ車いすを応援する会10名、日社済から1名

- ・活動 110台(コンテナ船にてスリランカに輸送分)の整備点検を実施
スリランカのサハナサラナ財団アーリアダーサー会長が2023年に亡くなったが、
今後共、車いす活動の継続・維持を強く要望された。
今回は現地財団スタッフと共同で工房を立上げ、修理講習会を行った。その
ため工具およびノーパンクタイヤを提供した。作業内容はブレーキ系統
の不備、シャフト・キャスターの不備について重点的に行った。

4. 社会福祉関係者の共済に係る事業

(1) 団体保険料収納事業

ジブラルタ生命保険株式会社と提携して、社会福祉法人などの福祉関係法人、社会福祉施設及び関係団体に勤務する役職員、構成員及びその家族を対象に『団体扱個人保険』を取扱い、日社済『福祉の共済事業』として位置づけ、保険料収納事業を実施。

(2) 会員施設サービス事業

ライフサポートクラブ

会員施設の役職員とその家族に福利厚生サービスを会員価格で利用できる制度を提供。

5. その他本会の目的を達成するために必要な事業(広報事業)

(1) 日社済ホームページの公開、更新

- ① 2024年度 公募助成団体一覧掲載(4月)
- ② 2023年度 決算公告用資料の公開(6月)
- ③ 2025年度 社会福祉助成事業・実施要綱の公開(9月)
- ④ 2023年度 助成事業成果レポートの公開(9月)

(2) 日社済広報事業の広報強化

ウェルフェア71号(日社済ニュース 2024年9月1日号)の発行

- ① 「2024年度社会福祉助成金交付団体」「アジア福祉助成団体」決定
- ② 「2025年度社会福祉助成事業実施要綱」
- ③ くっさり！福祉の未来～日社済助成事業成果報告～
 - ・社会福祉法人 東京栄和会なぎさ和楽苑
 - ・社会福祉法人 品川総合福祉センター
 - ・社会福祉法人 わたぼうしの会
 - ・特定非営利活動法人 Rumah Kita
- ④ 書き損じはがき収集ご協力をお願い

⑤ 福祉の共済コーナー

ジブラルタ生命からのお知らせ

＊ウェルフェア 71 号(日社済ニュース)の配布先

ア、 県・指定都市及び市区町村社会福祉協議会(約 1,800 か所・各 1 冊)

イ、 助成団体等の関係者他(約25か所・各 1 冊)

ウ、 ジブラルタ生命 (各営業組織へ・合計 500 冊)

Ⅲ.付属明細について

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する付属明細は「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。